

令和3年 第2回(3月) 筑紫野市議会定例会

【建設環境委員会 委員長報告】

『議案第17号 筑紫野市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定』の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

本件は、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律及び高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令の一部改正に伴い、引用している条文に条ずれ及び号ずれが生じたため、条例の一部を改正するものです。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

## 令和3年 第2回(3月) 筑紫野市議会定例会

### 【建設環境委員会 委員長報告】

議案第24号及び議案第25号の2件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

まず、『議案第24号 令和2年度筑紫野市水道事業会計補正予算(第4号)』の件について、ご報告いたします。

本予算の、主な内容は事業費の確定によるものでございます。

委員会では、原水及び浄水費の委託料が1700万円減となっているが、その理由はとの質疑があり、執行部からは、常松浄水場の運転管理機材を更新する業務委託を予定していたが、その他の浄水施設も同様に経年劣化しており、全体的に再度計画を練り直し業務委託するため、今回は発注を見合わせたことによるものであるとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第25号 令和2年度筑紫野市下水道事業会計補正予算(第4号)』の件について、ご報告いたします。

本予算の、主な内容は事業費の確定によるものでございます。

委員会では、過年度損益修正益として1億3310万の増額補正があるが理由はとの質疑があり、執行部からは、福岡

県の下水道事業会計が令和2年度から公営企業会計へ移行したことに伴い、流域下水道維持管理負担金の繰越利益剰余金について返還額等が確定したためであるとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

## 令和3年 第2回(3月) 筑紫野市議会定例会

### 【建設環境委員会 委員長報告】

『議案第33号 令和3年度筑紫野市農業集落排水事業特別会計予算』の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

本予算は、主に5つの農業集落排水事業処理区の維持管理と起債の償還に関するものでございます。

委員会では、県補助金として計上されていた農山漁村地域整備交付金が無くなっているが理由はとの質疑があり、執行部からは、令和2年度に県の補助事業として農業集落排水施設の機能診断を行ったが、単年度の事業であったため令和3年度の予算には計上していないとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

## 令和3年 第2回(3月) 筑紫野市議会定例会

### 【建設環境委員会 委員長報告】

議案第37号及び議案第38号の2件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

まず、『議案第37号 令和3年度筑紫野市水道事業会計予算』の件について、ご報告いたします。

本予算は、筑紫野市の水道供給に関するものでございます。

委員会では、水道管の布設替えの基準はとの質疑があり、執行部からは、布設してから40年前後のものが対象であり、その中で幹線道路や、軌道下などの重要な部分を優先的に整備しているとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、『議案第38号 令和3年度筑紫野市下水道事業会計予算』の件について、ご報告いたします。

本予算は、筑紫野市の下水道事業の運営に関するものでございます。

委員会では、流域下水道建設負担金が令和2年度より4300万円ほど増え約1億7344万円となっているが内訳はとの質疑があり、執行部からは、御笠川那珂川流域処理場の施設の更新が約3800万円、宝満川流域処理場の<sup>かんきよ</sup>管渠の更生工事が約7700万円、宝満川上流流域の<sup>かんきよ</sup>管渠の布設関係

が約5900万円であるとの答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。